

散策メモ
JR倉敷駅から美観地区入口交差点まで徒歩約10分。



岡山名物ままかりや黄ニラのお浸しなど、郷土料理が食べられる店。
郷土料理浜吉

散策メモ
大原孫三郎
日本の実業家で倉敷の立役者。倉敷紡績(クラボウ)、倉敷絹織(現在のクラレ)、倉敷毛織、中国合同銀行(中国銀行の前身)などの社長をつとめた他、倉紡中央病院、大原美術館を設立するなど、社会事業、文化事業にも熱心だった。さらに戦争孤児のために孤児院を設立する、社員の労働環境を格段に改善するなど人格者だったと言われている。

樹齢は300~500年と言われている阿智の藤。見頃は5月上旬。

倉敷町屋の典型的な建物。蔵には生活用品などが展示されており、大地主の豪勢な生活が垣間見える。

町屋を生かした店が並ぶ通り。雰囲気があり散策が楽しい。

大原孫三郎が設立した倉敷紡績の工場跡地にできた複合観光施設。中は、ホテル、レストラン、多目的ホール、倉紡記念館などがある。

大原孫三郎が、友人であり画家の児島虎次郎を記念して昭和5年に設立した、日本で最初の西洋美術館。エル・グレコ、モネ、ミレー、マティス、ゴッガンなどの作品の他、児島虎次郎の自画像も展示してある。

昭和の大名、大山康晴十五世名人の記念館。名人の日記や手書きの棋譜などが展示してある。

